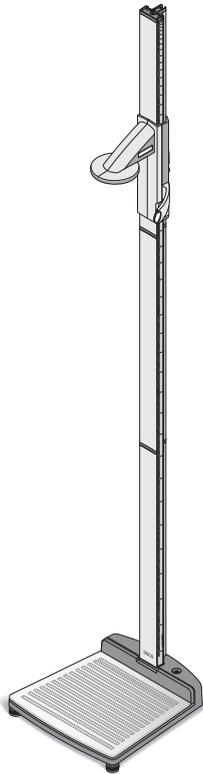


# seca 274



# 目次

1. 装置についての説明	3	5.2 その他の機能 (メニュー)	20
1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます!	3	メニュー内をナビゲーションする	20
1.2 用途	3	シグナル音をオンにする (bEEP (ブープ音))	21
2. 安全に関する情報	3	工場出荷時の設定に戻す (rSEt (リセット))	22
2.1 安全に関する基本的注意	3	ディスプレイのバックライトを設定する (LCd (モニター))	22
2.2 この取扱説明書での安全上の注意	4	6. ワイヤレスネットワーク	
2.3 乾電池と充電電池の扱い	5	seca 360° wireless	23
3. 概観	6	6.1 入門	23
3.1 操作エレメント	6	seca ワイヤレスグループ	23
3.2 ディスプレイエレメント	8	チャンネル	24
3.3 型式ラベルの標示	8	装置の認識	25
3.4 メニュー構造	8	6.2 ワイヤレスグループ内の装置の運用 (メニュー)	25
4. ご使用になる前に	10	ワイヤレスモジュールをオンにする (システム)	25
4.1 納品内容	10	ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))	26
4.2 装置を組み立てる	11	自動転送をオンにする (ASend (自動転送))	28
第2のポールエレメントを組み立てる	11	印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ	28
第3のポールエレメントを組み立てる	12	時刻を設定する (Time (時刻))	29
差し込み目盛りの組み立て	12	7. 清掃	30
4.3 装置の設置	13	8. こんなときはどうする?	30
4.4 装置の移動	13	8.1 問題とその対処法	30
4.5 電池をセットする	14	8.2 ヘッドプレートの電池交換	32
4.6 ヘッドプレートの補正	14	9. メンテナンス	32
自動で補正する	14	10. 技術データ	33
マニュアル補正	16	11. 付属品	33
5. ヘッドプレートの操作	17	12. 廃棄処分について	34
5.1 身長測定	17	12.1 装置の廃棄処分	34
身長測定を開始する	17	12.2 電池	34
測定結果を表示し続ける (Hold)	18	13. 保証について	34
相対測定を実行する (Zero (ゼロ))	19		
測定結果をワイヤレス受信装置に転送する	19		
ヘッドプレートをオフにする	20		

# 1. 装置についての説明

## 1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！

購入いただいたこのデジタル身長計 **seca 274** は、高精度でしかも頑丈な製品です。

170年以上にわたって **seca** 社は健康関連の事業で経験を重ね、マーケットリーダーとして世界各国で計量と測定向けの先進的開発によって、新たな基準を打ち立て続けています。

## 1.2 用途

このデジタル身長計 **seca 274** は各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニック、老人福祉介護施設などで使用されています。

このデジタル身長計は、身長の測定にご利用いただけます。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** を通じて **seca** ワイヤレスプリンターに、もしくはソフトウェア **seca analytics 105** と **seca 360° wireless USB adapter 456** を備えたパソコンにワイヤレスで転送されます。

# 2. 安全に関する情報

## 2.1 安全に関する基本的注意

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- 取扱説明書およびそこに付属する適合宣言書は大切に保管してください。
- 装置が傾斜のない平坦な下地に安全な状態で置かれていることを確認してください。
- この装置に強い衝撃を与えないでください。
- 装置下部のガラス板にとがった物を置かないでください。傷がついたり、亀裂が入ったり、剥げ落ちる箇所が発生したりすることがあります。そのような損傷は、ガラス板を破損させることがあります。

- 装置下部のガラス板に傷がついていないか、亀裂が走っていないか、剥げ落ちた箇所はないかを定期的に検査してください。そのような損傷を見つけたら、そのガラス板を新しいものと交換してください。
- 必ず指定されている型式の電池をご使用ください (14 ページの「電池をセットする」を参照)。
- 定期的にメンテナンスを依頼してください (32 ページの「メンテナンス」を参照)。
- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。最寄のサービス担当者は、[www.seca.com](http://www.seca.com) でお探しくささい。あるいは [info@seca.co.jp](mailto:info@seca.co.jp) にメールしてください。
- 必ず seca 社オリジナルのアクセサリーと、同じくオリジナルの交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には当社は保証いたしかねます。
- 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF (短波) 装置とは、最低でも 1 メートルの距離をあけてください。

## 2.2 この取扱説明書での安全上の注意



### 危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。



### 警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながることがあります。



### 注意！

危険状況を表示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながることがあります。

### 気をつけて！

装置の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意を無視した場合、装置を損傷させたり誤った測定結果が出る可能性があります。

**注意事項：**

この装置の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

## 2.3 乾電池と充電電池の扱い

この装置には、4本の単三乾電池と一緒に納品されます。この電池タイプは、再充電できません。以下の安全上の注意に留意してください。

**警告！**

**不適切な扱いによる人体の被害。**

乾電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- 乾電池/充電電池を加熱してはいけません。
- 乾電池/充電電池を燃焼させてはいけません。
- 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

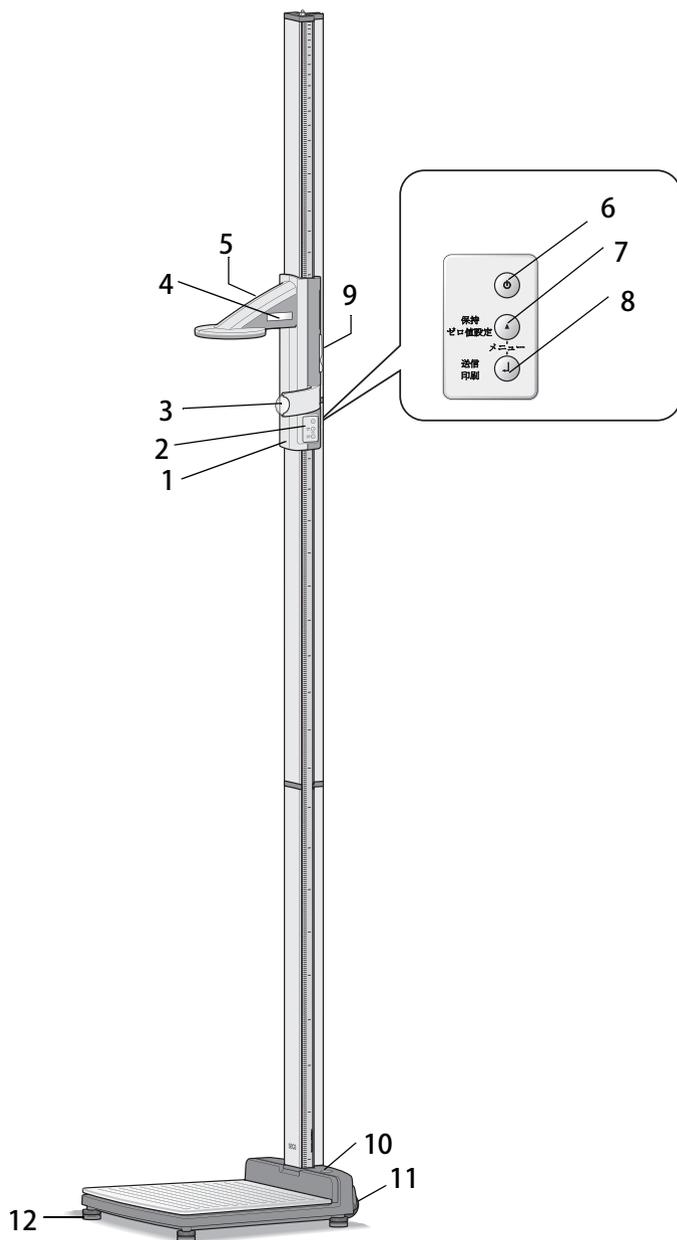
**気をつけて！**

**不適切な扱いによる装置の破損および誤作動**

- 必ず指定されている乾電池タイプ/充電電池タイプをご使用ください（14ページの「電池をセットする」を参照）。
- すべての乾電池/充電電池は必ず同時に交換してください。
- 乾電池/充電電池をショートさせてはいけません。
- 装置を長い間ご使用にならない場合には、乾電池/充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が装置に漏れ出すということがありません。

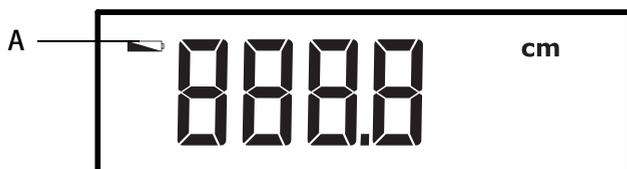
### 3. 概観

#### 3.1 操作エレメント



No.	操作エレメント	機能
1	ヘッドプレート	身長測定用の操作エレメント
2	ボタン、ヘッドプレート	身長測定の実行および装置の設定のためのコントロールエレメント
3	フランクフルト定規	いわゆる「フランクフルト平面」による頭部の位置合わせのための伸縮定規。
4	ディスプレイ、ヘッドプレート	測定結果および設定のためのヘッドプレート表示エレメント
5	電池収納スペース、ヘッドプレート	4本の単三乾電池（1.5V）のバッテリーパックの収納
6		スタートボタン、ヘッドプレート： ヘッドプレートのオン/オフ
7		矢印ボタン（ <b>保持 / ゼロ値設定</b> ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定中： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 短く押す：保持機能</li> <li>- 長く押す：ゼロ値の設定</li> </ul> </li> <li>・メニュー内で： <ul style="list-style-type: none"> <li>- サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する</li> <li>- 値を設定する（短く押す：値が1つずつ変化、長く押す：値はボタンを離すまで変化し続ける）</li> </ul> </li> </ul>
8		エンターボタン（ <b>送信 / 印刷</b> ）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき）： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 短く押す：測定結果を受信可能な装置（マルチ機能ディスプレイ、ワイヤレスプリンター、USBワイヤレスモジュール付パソコン）に転送する</li> <li>- 長く押す：測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター）</li> </ul> </li> <li>・メニュー内で： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 選択したメニュー項目を確定する</li> <li>- 設定した値を保存する</li> </ul> </li> </ul>
9	ブレーキボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドプレートを定位置に停止させる</li> <li>・押すとヘッドプレートが動きます</li> </ul>
10	水準器	この装置が水平に立っているかを表示します
11	キャスト	2個、短い距離を移動させるのに使います
12	脚部調整ねじ	4個、正確な位置調整のために使います

## 3.2 ディスプレイエレメント



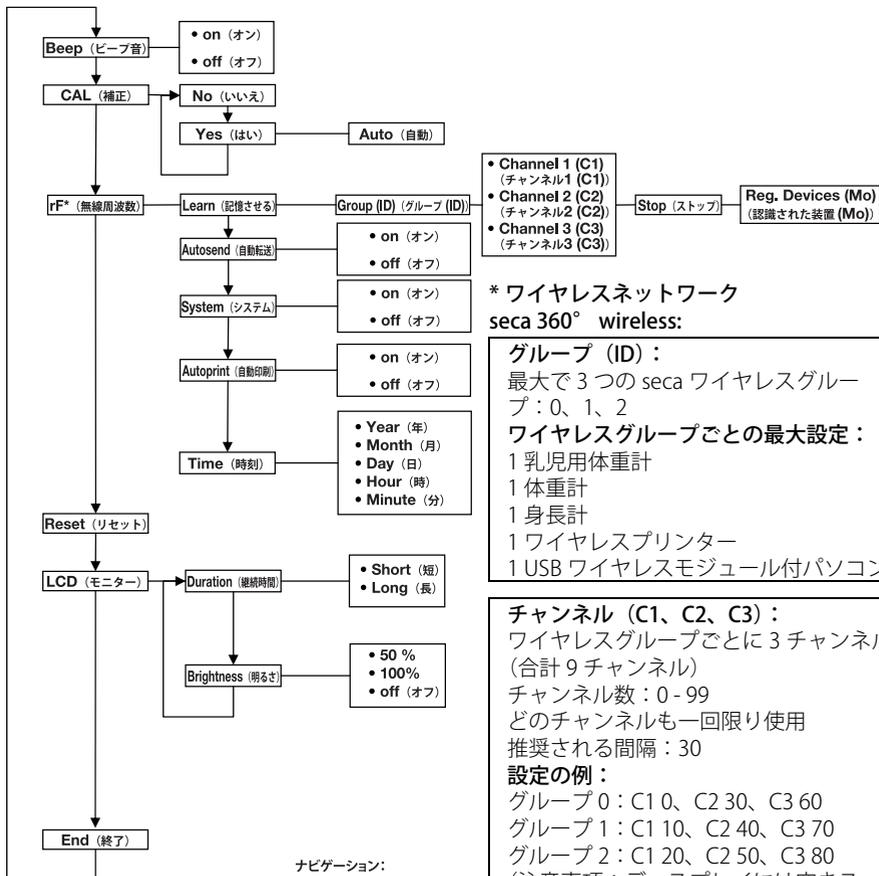
	シンボルマーク	意味
A		電池の電圧が低下。

## 3.3 型式ラベルの標示

テキスト / シンボル マーク	意味
モデル	モデル番号
型式	型式名
シリーズ No.	シリーズ番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器 (タイプ B) (ヨーロッパ内)
	保護絶縁された装置、保護クラス II
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則 認証番号: 202WW09118012
	装置を家庭ゴミとして廃棄しないこと

## 3.4 メニュー構造

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。詳しくは、20 ページ以降および 26 ページ以降をご覧ください。



- Channel 1 (C1) (チャンネル1 (C1))
  - Channel 2 (C2) (チャンネル2 (C2))
  - Channel 3 (C3) (チャンネル3 (C3))
- Stop (ストップ)    Reg. Devices (Mo) (認識された装置 (Mo))

**\* ワイヤレスネットワーク  
seca 360° wireless:**

**グループ (ID) :**  
 最大で 3 つの seca ワイヤレスグループ : 0、1、2  
**ワイヤレスグループごとの最大設定 :**  
 1 乳児用体重計  
 1 体重計  
 1 身長計  
 1 ワイヤレスプリンター  
 1 USB ワイヤレスモジュール付パソコン

**チャンネル (C1、C2、C3) :**  
 ワイヤレスグループごとに 3 チャンネル (合計 9 チャンネル)  
 チャンネル数 : 0 - 99  
 どのチャンネルも一回限り使用  
 推奨される間隔 : 30  
**設定の例 :**  
 グループ 0 : C1 0、C2 30、C3 60  
 グループ 1 : C1 10、C2 40、C3 70  
 グループ 2 : C1 20、C2 50、C3 80  
 (注意事項 : ディスプレイには空きスペースなし)

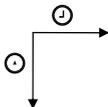
**認識された装置 (Mo) :**

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計

メニュー呼び出し:

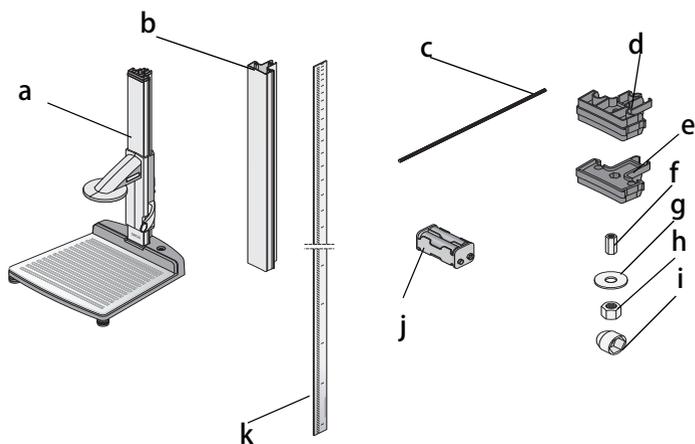


ナビゲーション:



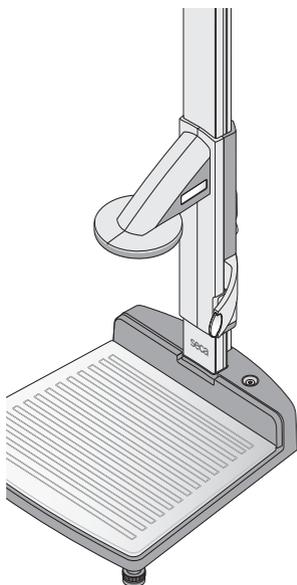
## 4. ご使用になる前に …

### 4.1 納品内容



No.	コンポーネント	個数
a	ボディ下部、組立済み - 第1のポールエレメント - フランクフルト定規付ヘッドプレート	1
b	ポールエレメント	2
c	ねじ棒	2
d	ポールジョイント	1
e	エンドキャップ	1
f	ロングナット	1
g	フラットワッシャー	1
h	ナット	1
i	化粧キャップ	1
j	4本の単三電池が入る電池容器	2
k	差し込み目盛り	1
	補正棒、画像なし	1
	取扱説明書、画像なし	1
	フランクフルト定規カバー、画像なし	1
	ツールセット、画像なし	1

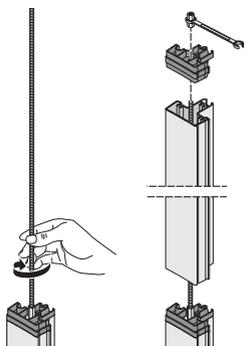
## 4.2 装置を組み立てる



工場から出荷される際、装置下部の上には既に第1のポールエレメントとヘッドプレートが組み立てられています。

それ以上の組み立ては、協力者と一緒に行ってください。組み立てると高くなりますので、コンポーネントを床に寝かせ、完全に組み立てた後に装置を起こすという組み立て方法をお奨めします。以下の手順で行います：

### 第2のポールエレメントを組み立てる



ポールエレメントを相互に接続するには、次の手順で行ってください：

1. ねじ棒を、第1のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。
2. 第1のポールエレメントの上に、ねじ棒を使ってポールエレメントを押し入れます。

#### 気をつけて！

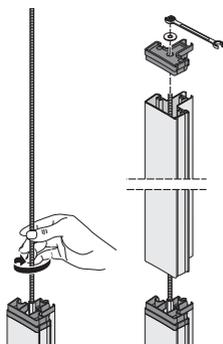
##### 誤った組み立てによる装置の破損

ポールジョイントとカバーキャップを取り違えると、装置は規定通りに組み立てることはできません。

- 第2のポールエレメントを組み立てる際には、ポールジョイントを使用していることを確認してください（10ページの「納品内容」を参照）。

3. ポールジョイントを、ねじ棒がそのポールジョイントの内腔から頭を出すように、第2のポールエレメントの上にセットします。
4. そのねじ棒にロングナットをねじ込みます。
5. そのロングナットを固く引き締めます。

### 第3のポールエレメント を組み立てる



ポールエレメントを相互に接続するには、次の手順で行ってください：

1. ねじ棒を、第2のポールエレメントのロングナットにしっかりとねじ込みます。
2. 第2のポールエレメントのポールジョイントの上に、ねじ棒を使ってポールエレメントを押し入れます。
3. エンドキャップを、ねじ棒がそのエンドキャップの内腔から頭を出すように、第2のポールエレメントの上にセットします。
4. フラットワッシャーをねじ棒の空いている末端の上にセットします。
5. ナットをねじ棒の空いている末端の上にセットします。
6. そのナットを固く引き締めます。
7. 化粧キャップをそのナットの上にセットします。

### 差し込み目盛りの組み立て

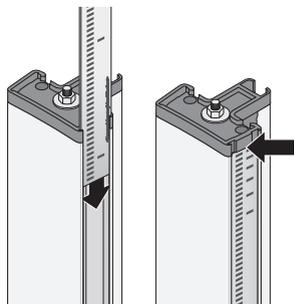
**気をつけて！**

**誤った組み立てによる誤測定**

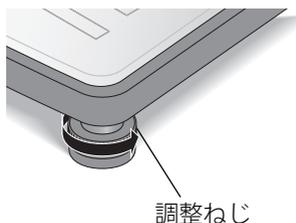
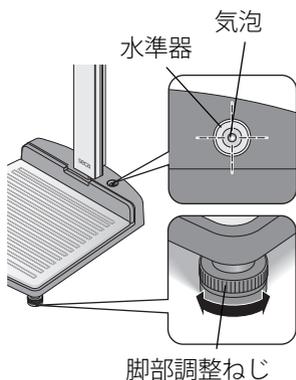
差し込み目盛りが適切に組み立てられていないと、ヘッドプレートは適切な測定値を得ることができません。

- 差し込み目盛りは、溝に差し込むときに印刷面が見えるように位置を合わせます。
- 差し込み目盛りは、物品番号を示す領域が下の末端になるように位置を合わせます。
- 差し込み目盛りが、エンドキャップの下にかみ合っていることを確認します。

- ◆ 差し込み目盛りは、その目盛りがエンドキャップの下にかみ合うまで、ポールエレメントのわきの溝に押し込みます。



### 4.3 装置の設置



1. 装置は堅い平面上に設置してください。
2. 脚部調整ネジを回して、装置の位置を調整します。  
水準器の気泡が正確に円の中央に来るように調整してください。
3. 調整ねじを矢印の方向に回して締めます。  
この脚部調整ねじは、誤った位置の変更に対して保護されています。

### 4.4 装置の移動

この装置は二つのキャスターを備えており、これにより短距離の移動が可能です。

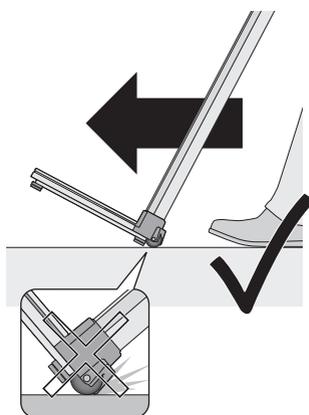


#### 注意！

#### 負傷の恐れおよび装置の破損

装置を必ず傾けてください。装置を傾けずに高いままにすると、負傷や装置の破損につながる恐れがあります。

- 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- すぐ近くに物体がないかを確認してください。

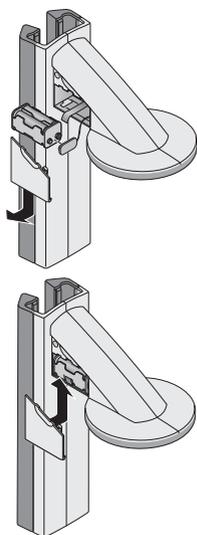


1. 装置をキャスターで自由に動かせるようになるまで装置を下に傾けます。
2. 装置を新たな設置場所に移動します。
3. 装置を再びまっすぐに起こします。

## 4.5 電池をセットする

ヘッドプレートの電力供給は電池で行われます。

付属の電池容器には、4本の単三乾電池（1.5V）が入っています。ヘッドスライダの電力供給をセットするには、次の手順で行ってください：



1. 電池収納スペースのカバーを外します。
2. 接続ケーブルを電池収納スペースから引き出します。
3. 電池容器を接続ケーブルにつなぎます。
4. その電池容器を電池収納スペースにセットします。

### 気をつけて！

ケーブルが挟まれていることによる装置の破損および誤作動

- 電池収納スペースを閉じる前には、カバーと電池収納スペースの間に電池ケーブルが挟まれていないように電池ケーブルの位置を調整します。
5. そのカバーを、音を立ててかみ合うまで電池収納スペースに押し込みます。

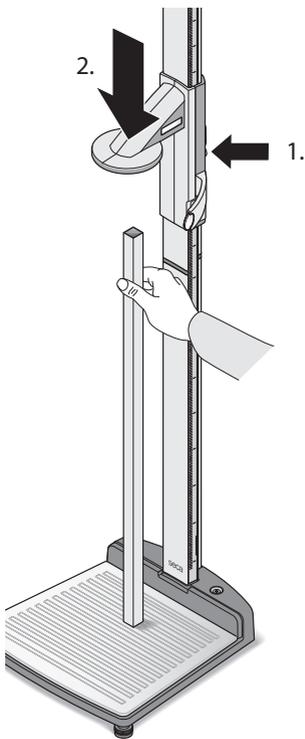
## 4.6 ヘッドプレートの補正

この装置を使って初めて身長測定を行う前に、この装置を補正してください。これは、この装置に基準尺度を「教える」ことで実施できます。

### 自動で補正する

付属の補正棒を使って自動補正を行うことができます。

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。  
ディスプレイに「----」が表示されます。



- ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。

### 気をつけて！

#### 不完全な補正による誤測定

表示される身長値は、ヘッドプレートの実際の位置と一致していません。

- この章に書かれているように補正を終了させてください。

- 付属の補正棒（長さ 0.8 m）を装置下部の上に垂直に立て、その位置で保持します。
- ブレーキボタンを押し続け、ヘッドプレートを補正棒の上にスライドさせます。

① **bEEP**

- メニューを開くにはエンターボタン（**送信 / 印刷**）と矢印ボタン（**保持 / ゼロ値設定**）を同時に押し続けます。

最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは「bEEP（ビープ音）」）。

② **CAL**

- 矢印ボタン（**保持 / ゼロ値設定**）を、「CAL（補正）」がディスプレイに表示されるまで何度も押します。

- エンターボタン（**送信 / 印刷**）で選択を確定します。

③ **YES**

- 矢印ボタン（**保持 / ゼロ値設定**）を使って、設定「Yes（はい）」を選択します。

④ **Auto**

- エンターボタン（**送信 / 印刷**）で選択を確定します。「Auto（自動）」の表示が現れます。



10. エンターボタン (送信 / 印刷) でその表示を確定します。  
装置は補正されています。この装置で身長測定を行うことができます。

## マニュアル補正

補正棒が手元にないときには、高さのわかっている他の物体を使用してマニュアルで補正を行うことができます。

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。  
ディスプレイに「----」が表示されます。
2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。

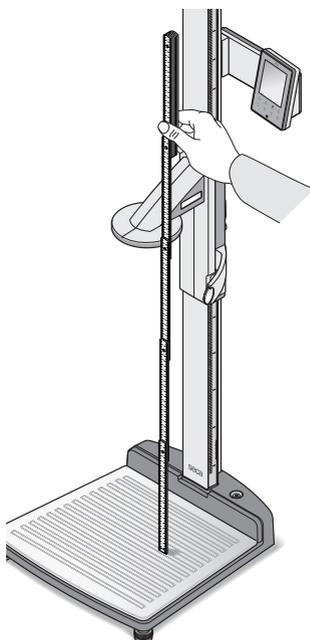
### 気をつけて！

#### 不完全な補正による誤測定

表示される身長値は、ヘッドプレートの実際の位置と一致していません。

- この章に書かれているように補正を終了させてください。

3. 高さのわかっている物体を装置下部の上に垂直に立て、その位置で保持します。
4. ヘッドプレートをその物体の上にスライドさせます。



bEEP

5. メニューを開くにはエンターボタン (送信 / 印刷) と矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を同時に押し続けます。  
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます (ここでは「bEEP (ビーブ音)」)。



CAL

6. 矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を、「CAL (補正)」がディスプレイに表示されるまで何度も押しします。



7. エンターボタン (送信 / 印刷) で選択を確定します。



8. 矢印ボタン（**保持 / ゼロ**）を使って設定「Yes（はい）」を選択します。
9. エンターボタン（**送信 / 印刷**）で選択を確定します。「Auto（自動）」の表示が現れます。
10. 矢印ボタン（**保持 / ゼロ値設定**）を使ってその物体の長さを入力します。
11. エンターボタン（**送信 / 印刷**）でその設定した値を確定します。装置は補正されています。この装置で身長測定を行うことができます。

## 5. ヘッドプレートの操作

### 5.1 身長測定

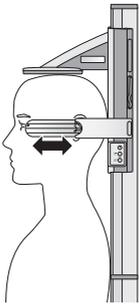
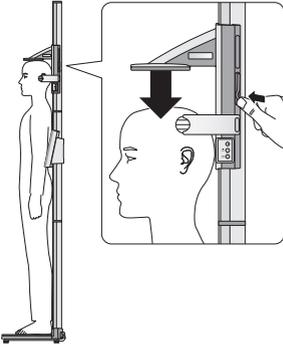
#### 身長測定を開始する

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。ディスプレイに「----」が表示されます。

#### 注意事項：

測定結果を **seca 360° wireless** システムから受信装置に転送したいときには、受信装置のスイッチが入っていることを確認してください。

2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。
3. ブレーキボタンを押し続けてヘッドプレートをスライドさせ、患者さんが楽にその下に立てるようにします。



4. 患者さんにヘッドプレートの下に立ってもらってください。そして
  - 背中をポールに
  - かかとをかかとストッパーに
  - 背中と頭をまっすぐに
5. ブレーキボタンを押し続けてヘッドプレートをスライドさせ、患者さんの頭の上のにせませ。
6. フランクフルト定規をヘッドプレートから引き出します。
7. 患者さんのフランクフルト平面をフランクフルト定規上の3つのラインのうちの適切なものに合わせませ。
8. ブレーキボタンを押し続け、ヘッドプレートの位置を修正します。
9. ヘッドプレートのディスプレイに表示された身長を読み取ります。
10. エンターボタン (送信 / 印刷) を押して、その身長を **seca 360° wireless** システムから受信装置に転送します。
  - ボタンを短く押す：測定結果をすべての受信可能な装置に送ります
  - ボタンを長く押す：測定結果を印刷します

### 測定結果を表示し続ける (Hold)



HOLD (保持) 機能をオンにしていると、測定値は測定後もずっと表示され続けます。ですからまだ測定値を記録していなくてもヘッドプレートをスライドさせることができます。

1. ヘッドプレートの位置を定めた後、矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を短く押してください。

「HOLD (保持)」というメッセージが表示されます。

ヘッドプレートをスライドさせても表示された測定値は変わりませ。

2. HOLD (保持) 機能をオフにするには矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を押します。「HOLD (保持)」というメッセージが表示されなくなります。

## 相対測定を実行する (Zero (ゼロ))



ヘッドプレートのディスプレイは、任意の位置でゼロにセットすることができます。この機能により、例えば極端値測定のための相対測定が可能になります。

1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押しします。  
ディスプレイに「---」が表示されます。
2. ブレーキボタンを押し続け、身長値がディスプレイに表示されるまでヘッドプレートを動かします。
3. ヘッドプレートを、そのディスプレイをゼロにセットしたい位置に合わせます。
4. 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を「ZERO (ゼロ)」というメッセージが表示されるまで押し続けます。  
ディスプレイは、ヘッドプレートの現在位置でゼロにセットされます。
5. ヘッドプレートを新たな位置にずらしてください。  
その長さが、設定されたゼロ値に対して測定されます。  
ゼロ値を下回ると測定値はマイナスの記号と一緒に表示されます。
6. 「ZERO (ゼロ)」機能をオフにするには矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を「ZERO (ゼロ)」というメッセージが表示されなくなるまで押しします。

### 注意事項：

記録作成のため、相対測定の結果を、BMI や BFR を自動的に算定する装置に転送する場合、この二つのパラメータに対しては妥当な値が明らかにされません。

## 測定結果をワイヤレス受信装置に転送する

ヘッドプレートがワイヤレスネットワークに統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置 (BMI 機能を備えた体重計、ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン) に転送することができます。

- ◆ エンターボタン (**送信 / 印刷**) を押しします。
  - ボタンを短く押す：測定結果をすべての受信可能な装置に送る
  - ボタンを長く押す：測定結果を印刷する



ヘッドプレートをオフにする

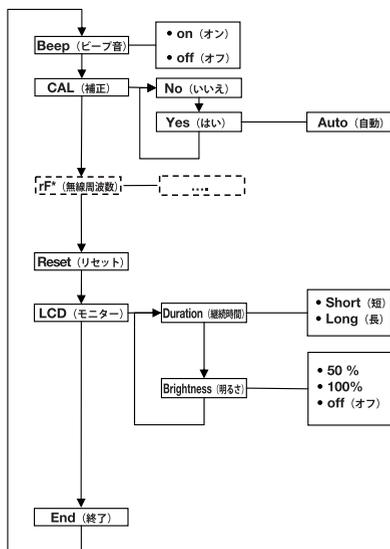
◆ ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。

**注意事項：**

ヘッドプレートが動かされないでいると、しばらくして自動でオフになります。

## 5.2 その他の機能（メニュー）

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そのようにしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。



\*メニュー項目「rF (無線周波数)」の説明は、25ページの「ワイヤレスグループ内の装置の運用 (メニュー)」の章をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする



1. ヘッドプレートのスタートボタン  を押します。  
ディスプレイに「----」が表示されます。
2. エンターボタン (送信 / 印刷) と矢印ボタン (保持 / ゼロ値設定) を同時に押し続けます。  
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます (ここでは「bEEP (ビープ音)»)。

① LCD

② dur

③ bri

④

50

⑤ 100

⑥

### シグナル音をオンにする (bEEP (ビーブ音))

bEEP

On

- 矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します (ここではディスプレイ設定「LCD (モニター)」)。
- エンターボタン (**送信 / 印刷**) で選択を確定します。  
メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます (ここではディスプレイバックライトの継続時間「dur (継続時間)」)。
- 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望の設定 (ここではディスプレイの明るさ「bri (明るさ)」) が表示されるまで何度も押してください。
- エンターボタン (**送信 / 印刷**) で選択を確定します。  
  
メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます (ここではディスプレイの明るさ 50%)。
- 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタン (**保持 / ゼロ値設定**) を、ご希望の設定 (ここではディスプレイの明るさ 100%) が表示されるまで何度も押してください。
- エンターボタン (**送信 / 印刷**) でその設定を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
- 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、既に説明したやり方で設定を行います。

#### 注意事項：

約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

ボタンを押すたびにシグナル音を出すようにヘッドスライダーを設定することができます。

- メニューで項目「bEEP (ビーブ音)」を選択します。
- その選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。
- ご希望の設定を選択します：
  - On (オン)
  - Off (オフ)

4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

## 工場出荷時の設定に戻す (rSEt (リセット))

これまでに行われた設定を元に戻すために、工場出荷時の設定を復元することができます。

機能	工場出荷時の設定
シグナル音	on (オン)
ディスプレイの照明の明るさ	50%
ディスプレイの照明継続時間	Short (ショート)
ワイヤレスモジュール (SYS)	off (オフ)
自動転送 (ASend)	off (オフ)
自動印刷 (APrt)	off (オフ)
長さの単位 (Unit)	cm (センチメートル)

### 注意事項：

工場出荷時の設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。

1. メニューで項目「rSEt (リセット)」を選択します。
2. その選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。
3. 装置をオフにします。  
工場出荷時の設定が復元され、装置を再びオンにすればその設定を使用できます。

rSEt

## ディスプレイのバックライトを設定する (LCd (モニター))

ディスプレイのバックライトの継続時間と明るさを変更することができます。

LCd

1. メニューで項目「LCd (モニター)」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. メニュー項目を選択します。
  - dUr (継続時間)：継続時間
  - bri (明るさ)：明るさ

dUr

SHrt

4. 選択を確定します。  
現在の設定が表示されます。



5. ご希望の設定を選択します。

機能	設定
継続時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Short (短) (約 15 秒)</li> <li>• Long (長) (約 45 秒)</li> </ul>
明るさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 50%</li> <li>• 100%</li> <li>• OFF (オフ)</li> </ul>

6. 選択を確定します。

メニューは自動的に終了します。

7. 二つ目の機能に対しても設定を行いたい場合には、この手続きを繰り返してください。

## 6. ワイヤレスネットワーク SECA 360° WIRELESS

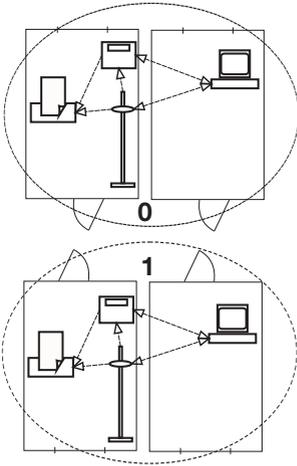
### 6.1 入門

この装置はワイヤレスモジュールを備えています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで転送することができます。データの転送は、以下に挙げる装置に対して可能です：

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

#### seca ワイヤレスグループ

このワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信装置と受信装置のバーチャルグループです。同じ型式の複数の発信装置と受信装置を運用する場合、この装置では3つまでのワイヤレスグループ (0、1、2) を設定できます。



複数の検査室がそれぞれ同等の装置を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らずに測定値を転送することが可能になります。

発信装置と受信装置の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の装置のコンビネーションが可能になります：

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

## チャンネル

1 グループ内で、装置は 3 つのチャンネル (C1、C2、C3) で互いに交信します。

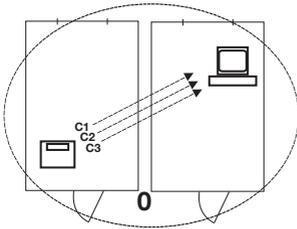
この装置でワイヤレスグループを設定すると、装置は、最適なデータ転送を可能にする 3 つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお奨めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときなどは、チャンネル数 (0 から 99 まで) をマニュアルで選択することもできます。

データ転送を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。その間隔としては 30 以上とすることを推奨します。それぞれのチャンネル数は、1 つのチャンネルに対してのみご利用ください。

設定例、診療所内で 3 つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数：

- ワイヤレスグループ 0 : C1=\_0、C2=30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1 : C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2 : C1=20、C2=50、C3=60



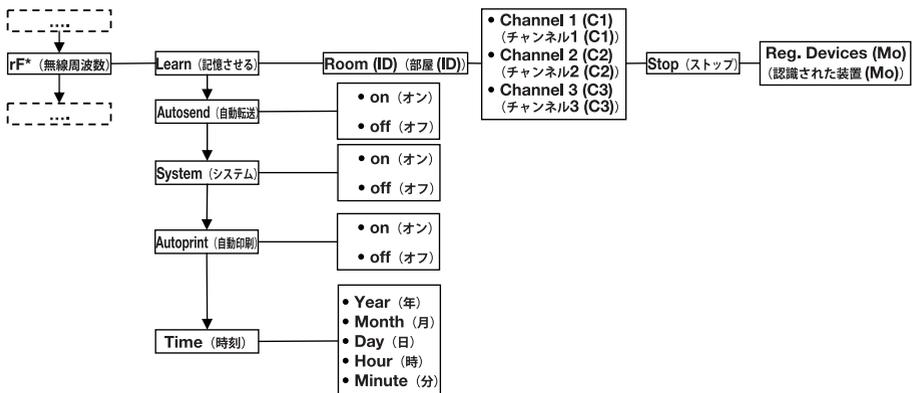
## 装置の認識

この装置でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな装置を **seca 360° wireless** システムから探します。認識された装置は、この装置のディスプレイにモジュール（例えば MO 3）として数値で表示されます。その数値には以下の意味があります：

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計
- 5、6 および 8-12: システム拡張のための予備

## 6.2 ワイヤレスグループ内の装置の運用（メニュー）

この装置を seca ワイヤレスグループの中で運用するのに必要なすべての機能は、サブメニュー「rF（無線周波数）」で説明されています。



\*ヘッドプレートのメニューの中のナビゲーションについての情報は、20 ページをご覧ください。

### ワイヤレスモジュールをオンにする（システム）

この装置はワイヤレスモジュールをオフにして納品されます。ワイヤレスグループを設定する前にそれをオンにしてください。

#### 注意事項：

ワイヤレスモジュールをオンにすると電力消費が増えます。

1. 装置をオンにします。

SYS

On

2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「SYS (システム)」を選択します。
3. その選択を確定します。
4. 設定「on (オン)」を選択します。
5. その選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

### ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))

rf

Lrn

Id 0

Id 1

C 1 0

C230

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください：

1. 装置をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューで項目「rf (無線周波数)」を選択します。
4. その選択を確定します。
5. メニュー項目「Lrn」(learn) (記憶させる) を選択します。
6. その選択を確定します。

現在設定されているワイヤレスグループ (ここではワイヤレスグループ0「ID 0」) が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在し、この装置でその他のワイヤレスグループを設定したい場合には、矢印ボタンで他のIDを選択してください (ここではワイヤレスグループ1「ID 1」)。

7. ワイヤレスグループの選択を確定します。

装置は、チャンネル1のチャンネル数を提案します (ここではC1「0」)。  
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

8. チャンネル1に対する選択を確定します。

装置は、チャンネル2のチャンネル数を提案します (ここではC2「30」)。  
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

#### 注意事項：

二桁目のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネル「2」、チャンネル数「30」を意味します。

C360

9. チャンネル 2 に対する選択を確定します。

装置は、チャンネル 3 のチャンネル数を提案します（ここでは C3「60」）。

提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

STOP

10. チャンネル 3 に対する選択を確定します。

**STOP**（ストップ）というメッセージがディスプレイに表示されます。

装置は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信装置からのシグナルを待ちます。

#### 注意事項：

装置の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの装置の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい装置、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。

ワイヤレスプリンターが認識されると、ピーという音が聞こえます。

#### 注意事項：

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー\無線周波数\自動プリント）、時刻を設定します（メニュー\無線周波数\時刻）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置に対して繰り返してください。

13. エンターボタンを押してサーチ手続きを終了します。

No 3

14. 矢印ボタンを押して、どの装置が認識されたかを表示してください（ここでは Mo 3）。

複数の装置をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての装置がこの身長測定装置によって認識されていることを確認してください。

15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

## 自動転送をオンにする (ASend (自動転送))

ASend

On

ボタン(保持/ゼロ値設定)を短く押すと、測定結果が自動的にすべての受信可能状態にあり、かつ同一のワイヤレスグループに登録されている受信装置(例えば、ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン)に転送するようにこの装置を設定することができます。

### 注意事項：

ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「off」が設定されていないことを確認してください(28 ページの「印刷オプション (APrt (自動印刷))」を選ぶを参照)。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「ASend (自動転送)」を選択し、その選択を確定します。
3. 設定「on (オン)」を選択し、その選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

## 印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ

APrt

ボタン(保持/ゼロ値設定)を短く押すと、それに続いて測定結果をワイヤレスグループに登録されたワイヤレスプリンターで自動的に印刷されるように、この身長測定装置を設定することができます。

ワイヤレスグループに **seca 360° wireless** システムの体重計も登録されている場合、BMI を自動的に計算しプリントアウトさせることができます。

### 注意事項：

この機能にアクセスできるのは、「learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されている場合に限られます。

1. 身長測定装置と体重計のスイッチをオンにします。
2. その都度、サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「APrt (自動印刷)」を選択し、その選択を確定します。
3. ご希望の印刷結果ごとに身長測定装置と体重計に対して適切な設定を選択してください。

印刷結果	APrt 身長測定装置	APrt 体重計
身長	on (オン)	off (オフ)
体重	off (オフ)	MA
身長、体重、BMI	off (オフ)	HI_MA
自動印刷なし	off (オフ)	off (オフ)

4. 選択を確定します。  
メニューは自動的に終了します。

## 時刻を設定する (Time (時刻))

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度この装置で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを転送する必要があります。

### 注意事項：

この機能にアクセスできるのは、「learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「Time」を選択します。
3. その選択を確定します。  
現在の「Year (年)」の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定します。
5. その選択を確定します。
6. ステップ 3. とステップ 4. を「Month (月)」「(Mon)」、「Day (日)」、「Hour (時)」、「Minute (分)」に対して繰り返します。
7. その都度、選択を確定します。  
分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。  
設定は自動的にワイヤレスプリンターに転送されます。  
ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

### 注意事項：

ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。




## 7. 清掃

必要に応じて、この装置の表面を家庭用洗剤または市販の消毒剤で清掃して下さい。メーカーの指示を遵守して下さい。

## 8. こんなときはどうする？

### 8.1 問題とその対処法

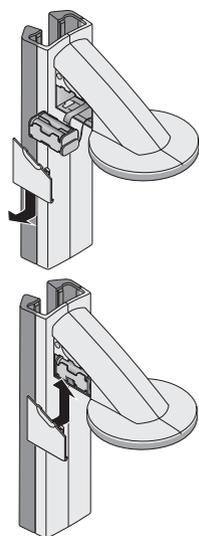
問題	原因 / 対処法
… 特定のセグメントが常に点灯している、またはまったく点灯しないとき	該当する箇所には何らかの故障があります。 - seca サービスに連絡してください。
… ヘッドスライダーでディスプレイのバックライトが消えてしまい、再びオンにすることができないとき	電池の電圧が弱くなっています。バックライトは、電力消費を抑えるために自動的にオフになります。まだ約 12 時間の測定を実施し、データを転送することができます。 - 早めに新しい電池を入れてください。(32 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)
…  が表示されるとき	電池の電圧が弱くなっています。 - 早めに新しい電池を入れてください。(32 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)
… 表示 <b>bAtt</b> が表示されるとき	電池が切れています。 - 新しい電池を入れてください (32 ページの「ヘッドプレートの電池交換」を参照)
… 表示 <b>StDP</b> が表示されるとき	ワイヤレスグループが設定されているとき： ・ワイヤレスチャンネル設定が遮断されています - ワイヤレスグループに統合したい装置をオンにします (26 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lm (記憶させる))」を参照)。

問題	原因 / 対処法
<p>... スイッチをオンにした後、初めて測定結果を転送し、二度シグナル音が聞こえたとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• この装置はワイヤレス受信装置（seca、ワイヤレスプリンター、secaUSB ワイヤレスモジュール付パソコン）に測定結果を送ることができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 装置がワイヤレスネットワークに統合されていることを確認してください</li> <li>- 受信装置のスイッチがオンになっていることを確認してください。</li> </ul> </li> <li>• 受信機は、近くにある HF（短波）装置（例えば携帯電話）によって障害を受けます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- HF（短波）装置と seca ワイヤレスネットワーク内の発信装置、受信装置の間隔を 1 m 以上あけてください。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>注意事項：</b> この障害が取り除かれないと、それ以上転送を試みても、新たなアラーム音は聞こえません。</p>
<p>... 統合された装置がオンになっているにもかかわらず、ワイヤレスグループ設定中でもピーという音が聞こえないとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 装置が認識されませんでした <ul style="list-style-type: none"> <li>- 装置をいったんオフにして、再度オンにします（26 ページの「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる）」を参照）。</li> </ul> </li> </ul>
<p>...rf メニューに項目「SYS」しか表示されないとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレスモジュールがオフになっています <ul style="list-style-type: none"> <li>- ワイヤレスモジュールをオンにしてください（25 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする（システム）」を参照）</li> </ul> </li> </ul>
<p>...rf メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されないとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレスモジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていません <ul style="list-style-type: none"> <li>- ワイヤレスグループを設定してください（26 ページの「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる）」を参照）</li> </ul> </li> </ul>
<p>...rf メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されないとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループの中に登録されていません <ul style="list-style-type: none"> <li>- ワイヤレスグループのメニュー項目「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください（26 ページの「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる）」を参照）</li> </ul> </li> </ul>
<p>... エンターボタンを押して、Er:Hi:7#が表示されるとき</p>	<p>データの転送ができません。ワイヤレスモジュールがオフになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ワイヤレスモジュールをオンにしてください（25 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする（システム）」を参照）</li> </ul>

問題	原因 / 対処法
... エンターボタンを押して、Error: 12: が表示される時	データの転送ができません。ワイヤレスグループが設定されていません。 - ワイヤレスグループを設定してください (26 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lm (記憶させる))」を参照)

## 8.2 ヘッドプレートの電池交換

4本の単三乾電池 (1.5V) が必要です。ヘッドプレートの電力供給をセットするには、次の手順で行ってください：



1. 電池収納スペースのカバーを外します。
2. 電池容器を電池収納スペースから外に出します。
3. 消耗した電池を電池容器から取り出します。
4. 新しい電池を電池容器に入れます。

### 注意事項：

電池の ± 極を正しくセットしてください (電池の留め金のマーキングに注意)。

5. その電池容器を電池収納スペースにセットします。

### 気をつけて！

ケーブルが挟まれていることによる装置の破損および誤作動

- 電池収納スペースを閉じる前には、カバーと電池収納スペースの間に電池ケーブルが挟まれていないように電池ケーブルの位置を調整します。
6. そのカバーを、音を立ててかみ合うまで電池収納スペースに押し込みます。

## 9. メンテナンス

ご使用頻度に応じて3年～5年の間隔でメンテナンスすることをお奨めします。

### 気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。
- 最寄のサービス担当者は、[www.seca.com](http://www.seca.com) でお探しください。あるいは [info@seca.co.jp](mailto:info@seca.co.jp) にメールしてください。

## 10. 技術データ

技術データ	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	466 mm 434 mm 2194 mm
自重量	14.75 kg
温度範囲	+10° C +40° C まで
文字表示サイズ	12 mm
電源供給	単 3 乾電池 4 本
消費電流 ヘッドプレート - ワイヤレスモジュールはスイッチオフ、バックライトなし - ワイヤレスモジュールはスイッチオン、バックライト常時点灯 (明るさ: 100%)	20 mA 80 mA
最長運用時間 ヘッドプレート - ワイヤレスモジュールはスイッチオフ、バックライトなし - ワイヤレスモジュールはスイッチオン、バックライト常時点灯 (明るさ: 100%)	約 3800 分 約 2200 分
測定技術上のデータ、身長測定 ・ 測定範囲 ・ 目盛り ・ 精度	30 - 200 cm 1 mm ± 2 mm
指令 93/42/EEC および 2007/47/EC に準拠した医療用製品 (ヨーロッパ内)	クラス I、測定機能付
ワイヤレス転送 ・ 周波数帯 ・ 送信出力 ・ 準拠規格	2.433 MHz - 2.480 MHz < 10 mW EN 300328

## 11. 付属品

付属品	物品番号
ワイヤレスネットワーク <b>seca 360° wireless:</b> ・ ワイヤレスプリンター - <b>seca 360° wireless printer 465</b> - <b>seca 360° wireless printer advanced 466</b> ・ パソコン用ソフトウェア - <b>seca analytics 105</b> ・ USB ワイヤレスモジュール <b>seca 360° wireless USB adapter 456</b>	国ごとに異なる 国ごとに異なる 用途ごとのライセンスモデル 456-00-00-009

## 12. 廃棄処分について

### 12.1 装置の廃棄処分



この装置は家庭ゴミで廃棄しないでください。この装置は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください：

[info@seca.co.jp](mailto:info@seca.co.jp)

### 12.2 電池

使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

## 13. 保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池、ケーブル、電源ユニット、充電電池といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。これ以外の請求は保証の対象とはなりません。本装置がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の送料はお客様のご負担となります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包一式を使用し、その梱包中で本機器が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社から明示的に認可されていない人が本装置を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただけますようお願いいたします。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94-2

電話 : 043-216-0850( 代表 )

ファックス : 043-216-0851

seca corporation

94-2 Sankakucho, Hanamigawaku,

Chiba City, Chiba, 262-0011 Japan

Tel.: +81 43 21 60 85 0

Fax: +81 43 21 60 85 1

